

- 魅力的な夜間景観の形成により横浜のまちの魅力を向上させ、夜間における更なるにぎわい創出や滞在人口の増加につなげていきます。
- そのため、これまでの都心臨海部の夜間景観の考え方を踏まえ、今後、都心臨海部が目指すべき方向性など、より魅力的な夜間景観を形成するうえでの指針や配慮事項などを示した横浜市都心臨海部夜間景観形成ガイドライン（以下、「ガイドライン」）の案を策定し、4月1日から市民意見募集を行います。
- また、ガイドラインの策定に伴い、令和4年度以降に都心臨海部の景観計画や都市景観協議地区などの景観制度を変更し、ガイドラインを反映した制度運用を行えるようにします。

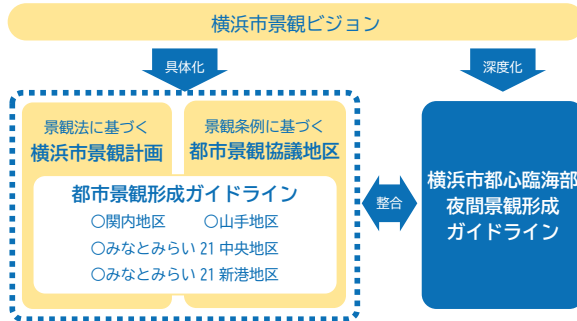
1 策定の目的（ねらい）

- ・これまで都心臨海部では、景観制度に基づくルールや、歴史的建造物のライトアップ等により、落ち着いた夜間景観を創出してきました。
- ・一方、近年多色LED照明やプロジェクションマッピング等の照明技術の進歩、ナイトタイムエコノミーの推進などを背景に、光を使用した大規模な夜間演出イベントが、都心臨海部を中心に増加しています。
- ・市民や事業者の皆さまの協力や工夫により、これまでの横浜らしい夜間景観をさらに磨きながら、新しい魅力を創出していくため、目指すべき夜間景観の方向性などを皆で共有する必要があります。
- ・個別の照明計画に活用していただくとともに、市民や観光客が楽しむことのできる光のイベントなどが促進されることにより、魅力的な夜間景観を形成し、横浜の夜の魅力を向上させ、夜間におけるさらなるにぎわい創出や滞在人口の増加につなげていきます。

2 ガイドラインの位置づけ

本ガイドラインは、より魅力的な夜間景観を形成するうえでの指針や配慮事項を示したものです。

関内地区など、地区毎にルールを定めた横浜市景観計画、都市景観協議地区、都市景観形成ガイドラインを補完し、連携を図りながら運用を行います。



3 都心臨海部の夜間景観の方向性

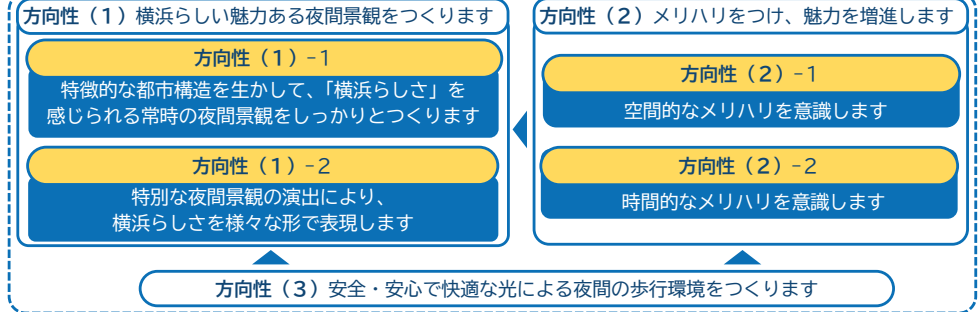
クリエイティブ エレガント
Creative & Elegant
横浜の多様な歴史と文化が感じられ、創造性と活力が光る、横浜ならではの夜間景観

開港以来の歴史や文化を生かし、落ち着いた中にも、歴史的建造物や港湾施設といった横浜らしさや地域ごとの個性や賑わいが感じられる、横浜ならではの夜間景観をより一層魅力的にします。

また、多くの人を惹きつけるような、創造性と活力あふれる質の高い特別な夜間景観の演出を進め、日常とのコントラストを高めることで、互いに引き立て合い、夜も魅力的な横浜を演出していきます。

加えて、夜間景観の形成においては、歩いて楽しめる空間づくりを進めるとともに、省エネルギー等の取組を積極的に推進します。

方向性の関係図



方向性（1）横浜らしい魅力ある夜間景観をつくります

■方向性(1)-1 特徴的な都市構造を生かして、「横浜らしさ」を感じられる常時の夜間景観をしっかりとつくります。

- 構造⑤ 個性あるシンボルを横浜やエリアの象徴として印象づけ、港町横浜らしさを感じる夜間景観
- 構造④ 海・港に向かう軸線の通りごとの特色を大切に、海と街の繋がりが感じられる夜間景観
- 構造③ 複数ある内水面に向けた顔づくり・水面への映り込み等、立地を活かした夜間景観
- 構造② 横浜港を囲むリング状のつながりを意識し、エリア間のつながりや変化を感じる夜間景観
- 構造① 個人的で多様なエリアのまとまりと、エリアごとの違いが引き立つ夜間景観

都市構造のイメージ図

■方向性(1)ー2 特別な夜間景観の演出により、横浜らしさを様々な形で表現します。

横浜ならではの都市空間の特徴を生かすなど、創造性を重視し、質の高い演出を促進します。



提灯による中華街らしい季節の演出



みなとみらいの建物群を特別に彩る全館点灯イベント

方向性(2) メリハリをつけ、魅力を増進します

■方向性(2)ー1 空間的なメリハリを意識します。

エリアの一部分や、建物のゲート部分を照らすなど、抑揚のある街並みを目指します。

■方向性(2)ー2 時間的なメリハリを意識します。

特別演出の頻度や期間、時間は限定的にするなど、イベントの特別感を高めるよう配慮します。



歴史的建造物をライトアップし、
周辺は控えめな照明とする



撮影：(一社)神奈川県ドローン協会
提供：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会
インナーハーバーのスケール感を生かした
時間限定の特別演出

方向性(3) 安全・安心で快適な光による夜間の歩行環境をつくります

夜間景観を楽しむことのできる歩行環境を整えるため、安全・安心で居心地の良さや温かさを感じられる快適な光環境を目指します。



歩行空間のフットライト照明



人の気配のする建物からの漏れ光

4 ガイドラインに対する地元まちづくり団体や事業者の主なご意見

- ・特別演出時だけでなく、日常の夜間景観についても重点が置かれている。メリハリをつける方向性はとても良い。
- ・水際線沿いは暗い印象があるので、ガイドラインの策定により、更に魅力的になると良い。
- ・民間施設での照明設備の整備が進むよう、補助制度などがあると、盛り上げにつながる。
- ・都心臨海部の特徴や特別演出時における考え方がしっかり示されており、創造性を生かした企画の検討に取り組みやすい。

5 ガイドライン等の策定スケジュール(これまでの経緯と今後の予定)

令和2年度	都市美対策審議会政策検討部会に夜間景観のあり方について付議
令和3年4月～	ガイドライン作成着手、地元まちづくり団体等からの意見収集、 公共施設管理者(道路、公園など)ヒアリング、 都市美対策審議会政策検討部会にガイドライン(素案)について付議
令和4年3月	建築・都市整備・道路委員会報告
令和4年4月	ガイドライン(案)に対する市民意見募集(4月1日～5月2日)
令和4年6月	都市美対策審議会政策検討部会に意見募集結果、景観制度変更案について付議
令和4年7月	夜間景観ガイドライン策定
令和4年度下期	横浜市景観計画・都市景観協議地区・都市景観形成ガイドラインの変更 (関内地区、みなとみらい2 1中央地区、みなとみらい2 1新港地区)

6 ガイドライン策定に伴う景観制度の変更概要

景観計画及び都市景観協議地区等の変更を行い、ガイドラインを反映した制度運用を行えるようになります。プロジェクションマッピング等の投影広告物の取り扱いを明確にするなど、令和4年4月に施行される屋外広告物条例の改正とも連携を図り、より魅力的なイベントを促進し、にぎわい創出につなげていきます。

■主な変更内容

- (1) 歴史的建造物や周囲への影響が大きいライトアップについて、協議の対象に新たに加えます。
- (2) 歴史的建造物へのライトアップは、意匠などの特徴が魅力的に演出されるよう工夫する旨を追記します。
- (3) 投影広告物の基準を新たに設け、イベント等のために期間や時間を限定したものは、表示が可能となるよう基準を定めます。



歴史的建造物の意匠を生かしたライトアップ



建物壁面を利用したプロジェクションマッピング